

札幌市政概要

令和6年版

札幌市徽章

札幌市徽章は、明治44年8月に制定された。

外側の六角模様は、6つの花、すなわち雪をもって北海道を象徴し、内側円形模様は札幌の札の字を表わし、さらに○形全体をもって片仮名のロの字を兼ねている。中央の星型は北斗星にちなみ、北方の意を示すとともに片仮名のホの字を形どったものである。

つまり、徽章全体を通じて北海道札幌を表示したものである。



札幌市民憲章

わたしたちは、時計台の鐘がなる札幌の市民です。

元気ではたらき、豊かなまちにしましょう。

空も道路も草木も水も、きれいなまちにしましょう。

きまりをよくまもり、住みよいまちにしましょう。

未来をつくる子どものしあわせなまちにしましょう。

世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう。

昭和38年11月3日制定
昭和61年6月6日一部改正

写真で見る 令和6年のさっぽろ



2月4日～11日の期間、4年ぶりにつどーむ会場を再開して「2024さっぽろ雪まつり（第74回）」を開催しました。5基の大雪像をはじめ札幌ならではの冬の魅力を、多くの市民と国内外の観光客が楽しみました。



4月1日、札幌市青少年科学館がリニューアルオープンし、より科学への親しみや楽しさの共有が生まれるような体験型展示が充実した施設へと生まれ変わりました。



5月9日の「ASEANTA2024年度年次総会」に合わせて来札したASEAN各国の旅行業協会会長等と国内行政・関連事業者が参加する観光・MICEに関するシンポジウムを10日に開催しました。



6月4日、北海道・札幌市は「金融・資産運用特区」の対象地域として決定され、併せて、北海道全域が国家戦略特区に指定されました。



5月21日、良好な動物福祉に最大限配慮とともに、生息地の一つであるボルネオ島を再現することで生物多様性の大切さを伝える施設として、円山動物園に「オランウータンとボルネオの森」がオープンしました。



6月6日～8日、姉妹都市提携65周年記念事業への出席などのため、市長がポートランド市を訪問しました。両市の経済交流の重要性を確認したほか、多文化共生に向けた取組などについて意見交換を行いました。